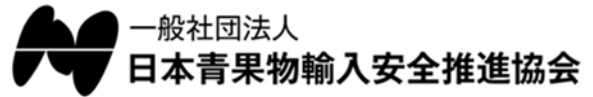


# 日青協ニュース

NISSEIKYO NEWS



一般社団法人

日本青果物輸入安全推進協会

東京都千代田区神田和泉町1丁目 12-16

末広ビル

電話 03(5833)5141

No.826

平成 27 年 5 月 20 日

印刷所 有限会社池村印刷

日青協ニュースは、日青協ホームページにカラーで掲載しています。また、内容についてのご意見をホームページ「お問い合わせ」より、お寄せ下さい。 <http://www.fruits-nisseikyo.or.jp/inquiry/index.php>



## 平山理事の瑞宝小綬章受賞

平成27年4月29日付けで、当協会理事の平山禎陸氏(那覇青果物卸商事協同組合理事長)が関税行政事務功勞により瑞宝小綬章を受賞されましたのでお知らせ致します。誠にありがとうございます。今後とも一層ご活躍されますよう、お祈り致します。

## 南オーストラリア州議会議員の来会について

ティム・ウエットストーン州議会議員他2名が5月1日(金)に来会し、日本の生果実マーケットについての情報交換を行った。南オーストラリア州は、オレンジの生産量がオーストラリアの第一位であるが、ネクタリンなどの新品種が、ミバエフリーエリアやその周辺で生産されているので、今後有望と考えているとの発言があった。

これに対して、日青協事務局からは、オレンジやブドウなどのオーストラリア産生果実の輸入状況について説明を行ったのち、辻川シトラスその他果実部会長等からは、マーケットリサーチの結果を踏まえて解禁要請品目の優先順位を付けて取り組むことが必要であり、昨年解禁されたオーストラリア産ブドウのように皮付きで食べるブドウの消費が伸びていることから、新品種にこだわることなく、既存の果実の消費傾向を分析して取り組むことが重要との示唆があった。

議員からは、今回の来日で得られた情報を生産者やオーストラリア政府にも伝えて輸入促進に取り組んでいきたいとの発言があった。

## シトラス・オーストラリア関係者の来会について

4月24日(金)、シトラス・オーストラリア 市場開発部長 アンドリュー・ハーティ氏他1名とオーストラリア大使館 公使・参事官(農務) ポール・ロス氏他1名、計4名が日青協を訪問し、食品衛生法に基づくかんきつ類の防かび剤とその表示について情報交換を行った。

## 台湾向け青果物に係る産地証明書について

5月15日以降に台湾に輸出する青果物に関する産地証明書は、植物防疫所が発行する植物検疫証明書の活用が可能と考えられております。つきましては、植物検疫証明書の発行申請を行う際、原産地は‘日本’ではなく、‘〇〇県’で申請願います。

また、複数の都道府県の青果物を混載して輸出する場合については、全ての県名をご記入ください。

## 第4回 食育推進施策に関する有識者会議

平成27年2月23日、農林水産省により行われた会議で配布された資料より、抜粋して掲載します。詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。

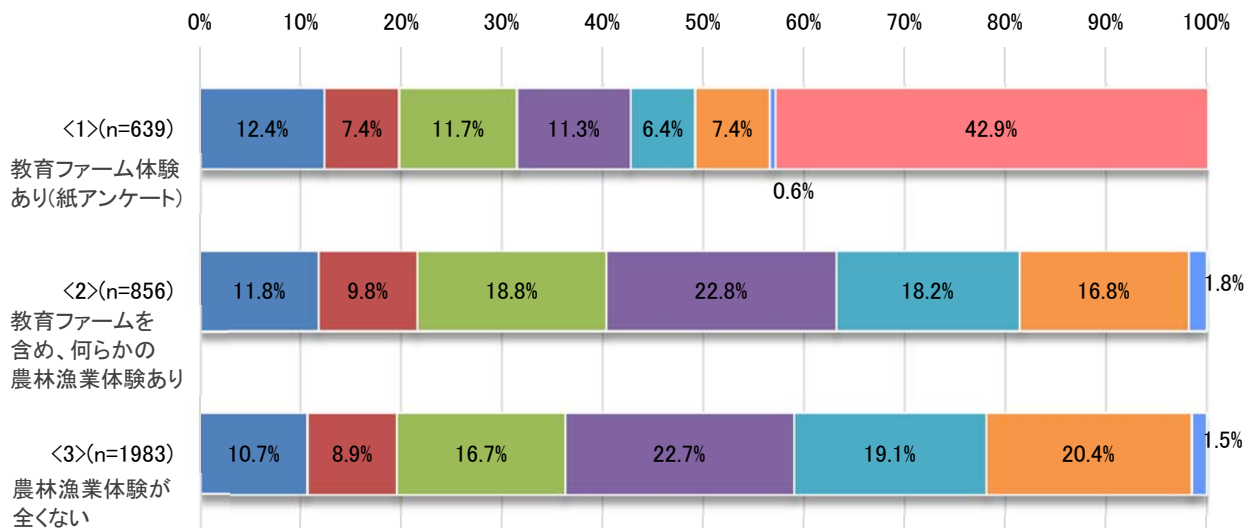
<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kaigi/siryou.html>

資料. 2教育ファームアンケート結果

Q13. 食べ物を購入するとき、同じ種類の食品で日本産と外国産の価格差があった場合の選択について

【果物(かんきつ類、ぶどうなど)】

●グループ<1>では「日本産が5割高を超える価格でも、日本産を選ぶ」という回答がもっとも多かったのに対し、グループ<2><3>では「日本産が1~2割高までなら、日本産を選ぶ」という回答が多くなっていた。

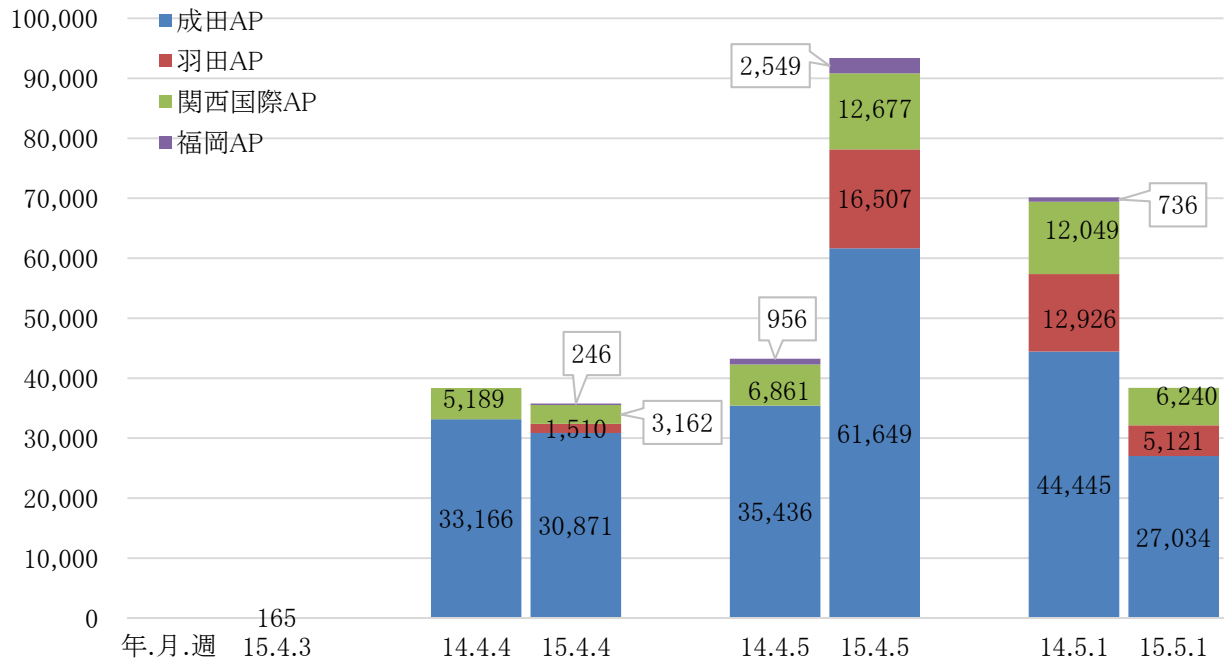


- 日本産が5割高を超える価格でも、日本産を選ぶ
- 日本産が3~5割高までなら、日本産を選ぶ
- 日本産が2~3割高までなら、日本産を選ぶ
- 日本産が1~2割高までなら、日本産を選ぶ
- 日本産と外国産の価格差が1割未満ならば、日本産を選ぶ
- 日本産が外国産よりも安いならば、日本産を選ぶ
- 日本産は選ばない
- 無回答

## 米国産サクランボ週別輸入量の前年比較

単位 kg

資料 植物検疫統計



## 生果実とバナナの月別輸入量2013～2015年

単位t

資料 植物検疫統計(バナナはキャベンディッシュのみの数量)

